

# 会 議 要 旨

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議名       | 令和2年度第1回館山市コーラル会議                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 開催日       | 令和3年1月29日（会議資料発送日）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 開催場所      | 書面決議による                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 出席者       | 委員全員に会議資料を郵送                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 公開・非公開の別  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 非公開の場合の理由 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 傍聴者       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 会議概要・結果等  | <p>令和元年度における「第4期館山市男女共同参画推進プラン」の取組状況及び審議会等における女性委員割合についてまとめた資料を各委員に郵送し、それに対する意見を募った。</p> <p>〔資料概要〕<br/> ○令和元年度「第4期館山市男女共同参画推進プラン」の取組評価について、前年度に比べ、C評価が増加した。要因としては、令和元年台風被害によるセミナー等のイベント中止が挙げられるが、それを差し引いても、依然として基本目標Ⅲ「仕事と家庭の両立ができる環境づくり」の取組、特に事業者に対する意識啓発と意識改革の推進ができていないことが課題として明らかになった。<br/> ○2020年（令和2年）4月1日現在の女性委員割合は28.3%で、対前年差+0.49ポイントだった。国は、2020年代の可能な限り早期に指導的地位に占める女性の割合が30%程度となるよう取組を進めるとしている。市としても実施可能なことから取組を進め、目標を達成したいと考えている。<br/> ○そのほか、館山市が協力している千葉県男女共同参画地域推進員制度の活動内容について報告した。この活動について、今後もできる限り協力したいと考えている。</p> <p>〔意見要旨〕<br/> ○令和元年度「第4期館山市男女共同参画推進プラン」の取組評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>取組内容の適切な分析のため、評価指標を設けるなどして、主観的な評価だけでなく、客観性を持たせるようにすべきである。また、取組内容の評価について、本会議にて監査し、フィードバックする仕組みが必要である。そのほか、目標達成に向けた具体的な取組案が出された。</p> </div> |

以下、各委員からの意見をまとめたもの（順不同）

- ・多くの事項について、各担当課から評価及び取組状況をモニタリングしていることは大変有意義である。
- ・評価者については自主評価のほかに、監査機関としての性質を担うことができる本会議にて、全例評価を行うべきである。また、改善に向けて、本会議が自主評価では意識できない課題の抽出などを行い、各担当課にフィードバックする仕組みが必要。（評価が適切でない事例が散見される）
- ・評価方法について、主観性だけでなく、客観性を持つよう、評価指標があることが望ましい。各担当課の評価の中には、抽象的な表現で具体的な取組がわからないケースが見られるため、数値目標や数値実績を中心に記載してもらうことを周知することが望ましい。
- ・市職員、特に幹部が率先して取組を行っていくことが大事ではないか。市職員の男女共同参画に対する意識（現状及びこれまでの取組成果）について知りたい。また、今後、市職員を対象とした意識調査を実施集計してみてはどうか。
- ・女性防災リーダーの積極的な登用の促進として、防災リーダーに関する情報の周知などで館山市女性消防部と連携を深めてはどうか。
- ・人権を尊重する意識づくりと人権教育の充実として、令和元年度に実施したLGBTQの勉強会は、とても良い機会だった。市長がその後、虹色ピンバッチをつけてくれていたのもうれしかった。これからもセクシャルマイノリティだけではなく、様々な少数派の意見を取り入れてくれるような環境、リーダーであってほしい。
- ・先日の北条小の児童による防災無線は心に響いた。未来に夢を持つ者の純粋な言葉は、素直に受け入れることができ、未来を信じて疑うことのない子どもたちのために努力しようとする心が大切だと、改めて思った。そこで、小・中・高の児童・生徒の思いや希望を社会に浸透させる事業があってもよいと考える。男女共同参画的な視点を含み、社会福祉・人権・多様性の理解などの子どもたちの声を今後の館山市のエネルギーにしたい。
- ・基本目標Ⅲ「仕事と家庭の両立ができる環境づくり」の取組の中で、事業者に対する意識改革はなかなか難しいと考えるが、市の広報紙にて、好事例（ここでいう好事例とは、普通に女性が育児休業を取りやすい企業を想定。まだまだ、女性の育児休業が思うように取れないのがこの地域の現状だと考えている）となる市内企業の経営者の「仕事と家庭の両立」に関する考えを紹介するような企画を実施してみてもどうか。育児休業の取得率の高い企業は、働きやすい職場としてイメージアップになり、協力いただけるのではないかと考える。
- ・男性の育児休業取得など、背伸びせずに、できそうなところを当たり前にしていくことも啓発活動と考える。

## ○審議会等における女性委員割合について

令和２年度第１回の本会議において、審議会等における女性委員割合についての意見が最も多く寄せられた。特に、いじめ及び防災に関する審議会における女性委員割合の増加が喫緊の課題であるとする意見が多く寄せられた。また、女性委員割合３０％を達成するための具体的な案が出された。

以下、各委員からの意見をまとめたもの（順不同）

- ・会長が男性の場合は女性を副会長に、女性が会長の場合は男性を副会長にすることが望ましい。
- ・女性委員割合３０％を達成した審議会は、４０％を目指してもらいたい。また、次期計画では４０％を目標に掲げたい。
- ・「館山市防災会議」など、女性視点が必要なものもある。女性割合を高めづらいが、女性視点も求められる審議会は、女性枠をつくってみてはどうか。（これは、男性割合を高めづらいが、男性視点も求められる審議会も同様）
- ・日本のジェンダーギャップの改善が進まない原因は、女性を登用しようとしても、女性が逡巡してしまうような、あるいはそうさせてしまうような社会的背景にあると思う。ジェンダーギャップの改善にはクオータシステムの導入が不可欠だと思う。市の審議会等のリーダーについて、女性割合を定めること。市の女性管理職の割合を急速に増やすこと。
- ・女性リーダーの育成に関しては、IBMが女性管理職を増やす取組をしていて参考になる。女性、男性両方の意識改革が必要。市の男性職員の育休取得も進むとよい。男女平等が当たり前で育った子どもたちが、そのままの意識で社会参加できるようになると変わると思う。
- ・団体推薦の場合は、会長が宛て職の場合があり、会長が男性だという慣例だと、委員は常に男性となる。団体に推薦を求める場合は、会長でない人でも構わないと市から伝えてもらいたい。
- ・高度な知識が求められる審議会であるが、中には専門性が低い委員がいてもよいと思う。なぜなら、専門家だけだと視野が狭くなり、政策的なものをつくる場合は、世間常識とずれて、うまくいかない場合もあり得る。
- ・グループシンクに対するリスク回避のため、多様な価値観を組織に反映させることは大事である。
- ・審議会には無作為抽出の委員も入れてほしい。行財政改革委員会では、無作為抽出の市民判定人を選んだ実績もある。また、裁判員制度では、死刑もあり得る重要な裁判で、素人の裁判員が選任されていることから、高度な案件の審議会であっても、無作為抽出の委員の選任は可能だと考える。
- ・「館山市いじめ問題対策連絡協議会」について、女性０名は極めて緊急性を要する課題だと思う。当該審議会の委員の全員が管理職である必要はないし、実際の子育て世代など当事者たる市民の声が必要な分野である。時期未定ではなく、具体的に期限を設定した改善方略が急務である。

- ・「館山市いじめ問題対策連絡協議会」について、21名と多くの方が委員にありながら、女性0名というのはどうなのか心配になる。“いじめ”というデリケートかつ複雑で、色々なパターンや人、環境が関わる問題においては、積極的に女性委員の意見を取り入れてほしい。(教育＝家庭のつながりは大事であり、家庭内で女性は子育てにより深く関わりがあると感じる)
- ・自治会に女性役員が少なく、自治会推薦の委員は必然的に男性が多くなる。しかし、自治会も役員のなり手不足があり、女性役員の登用は時代の流れでもあるのに、慣例に縛られている。市から女性役員を増やすように、自治会長の連合協議会で要望すれば、自治会も女性役員の登用を始めるのではないかと。
- ・女性委員割合30%未満の理由として「町内会長等が大半を占めたため」や「関係機関の長が指名する者」などが挙げられているが、この方法ではこれから先も変わらないのではないかと思う。特に、「防災会議」は、近年災害が増えている中で、20～40代の子育て世代及び50～60代の介護世代の女性の考えや意見は重要だと思う。委員34名中、女性4名しかいない現状は早く見直すべきだと思う。(20～60代各2名ずつくらい) また、町内会長についてもまだまだ男性が多いため、女性を選任してもらえよう、担当課から各町内会に強く働きかける必要があると思う。
- ・審議会女性委員50%を目指し、ひとりひとりが尊重される大好きな館山市であってほしい。

#### ○その他

以下、各委員からの意見をまとめたもの(順不同)

- ・会議資料に、継続的なアプローチ・声かけを継続することの記載があり、自治体単位では極めて重要だと思う。そのための方略(男女共同参画の意識の啓発方法)についても検討していきたい。
- ・コロナ禍における男女共同参画は、令和元年とは現状も課題も変化していると思われる。男女共同参画は不要不急ではなく、非正規雇用の女性の経済困窮対策、LGBT支援政策など、他自治体で令和2年に進んでいることは数多くある。市の現状の課題分析、それに対する対応策の検討が必要である。
- ・横浜市と千葉市が導入しているパートナーシップ宣誓制度を、館山市も導入し、両市と協定を結び、宣誓はいずれの市でも有効であることにできればと思う。
- ・今後の地域活性化、少子化、人口減少の防止において、女性の転入は大きなカギになると考える。高校卒業後、都会へ勉学、就職のために転出した女性が、そのまま都会で就職、家庭を持つケースが多いと思う。なぜ、転出した女性が故郷へ戻ってこないか分析する必要がある。豊岡市でもその点に目をつけ、取り組みを始めている。私の感覚では、高校卒業後、看護師や介護士、保育士など、地域で必要とされている資格の取得を目指す女子は多いと思う。この子たちが戻ってきてくれたら、大きな課題解決につな

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>がると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（館山市が協力している県の男女共同参画社会推進の取組のひとつである）寸劇事業のアンケート結果を見ると、まだまだ男女共同参画のことが知られていないようであるが、子どもたちのポジティブな反応が多いことから、この活動は継続する必要があると感じた。</li> <li>・会議資料はメールで、押印は廃止、意見書の提出もメールで、会議はオンラインでという形も取れればと思う。</li> <li>・令和２年度を取組結果については、「コロナ禍でできなかった」という記載が多くなることが予想されるが、上記理由により取組が不十分な場合は、行わなかった、あるいは行えなかった具体的な理由及び今後の具体的な改善について記載するようお願いしたい。</li> </ul> |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|